

# ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録3：8

VOL.02-01 NO.010 2010年01月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール：[nanbu-kyokai@nifty.com](mailto:nanbu-kyokai@nifty.com)

URL：<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

## 「安心させてくれる人」

橋本幸夫

「彼らは、私の心をも、あなたがたの心をも安心させてくれました。」

(Iコリント16：18)

〈ホット安心する〉…このような感覚は、おそらく今の人々が、一番忘れていたものではないでしょうか。そしてまた、この〈ホット安心する〉という感覚ほど私たちにとって大切なものはないと思います。

たとえば、こんなことを感じたことはありませんか。

〈つらくなっても、あの人の顔を見るとなぜか心が安らぐ…〉

〈暗い性格なのに、あの人と一緒にいるとなぜか明るくなれる…〉

〈ふだんは無口なのに、あの人とはなぜか話が弾んで…〉

皆さんにこのような人がいるなら、うらやましい限りですがそれは家族なのか、恋人なのか、友人なのか…。それが誰であったとしても、なぜホッと明るくなれて話が弾むのか。その人はおそらく皆さんを〈安心させよう〉と思っていたのではありません。その人の存在自体に皆さんを安心さ

せる〈何か〉があったからです。その〈何か〉が、皆さんの疲れた心をリフレッシュしてくれたわけです。

ストレスで満杯になった心からは何も生まれません。人は〈安心する〉ことによつてのみ、また新たな何かを考えたりつくったりする余裕を心の中にたたえることができるのです。そしてまた〈新しい自分〉を始めていくことができます。

世の中には、皆さんに〈ストレスを感じさせる人〉も大勢いますが、一方で、〈ホッと安心させてくれる人〉もいます。

〈安心させてくれる人〉ってどんな人でしょうね。私は思うんです。まるで温かいスープのような人？ その人のそばにいただけで不思議に自分も元気づけられ、明るい気分させられます。その人の近くにいるだけで、思いもかけない幸運が自分にもやってきそうな予感がしてきます。心の底から高らかに笑うことができるような雰囲気を作ってくれます。

私たちは、人を安心させているのか。あるいはストレスを感じさせているのか。

さて、どうでしょう？